

プロジェクト名：イラク向け第三国研修「灌漑農地水管理技術」短期専門家派遣
(調査期間：2006年2月～7.2ヵ月、担当業務：灌漑農業技術、水利用管理・水利組織)

調査背景

Tigris及びEuphratesの両大河が国内に流れるイラクは、世界で最初に灌漑事業が行われた地として、太古から豊富な水資源を利用した農業が盛んである。しかし、Euphrates河については、1970年代以降上流のトルコ及びシリアにおいて、大規模ダムが開発が相次いだことから、下流の乾燥地帯に位置するイラク国内への流入量は大きく減少している。また、不適切な水資源管理による利用可能水量の低下や、灌漑排水システム機能低下に伴う灌漑土壌の塩化なども大きな問題となっている。このような背景からJICAは灌漑農地における水の有効利用及び農作物生産高の向上を図ることを目的とした 水利用組合の設立、灌漑農地における水管理技術、技術普及に必要な技術協力を行うため、イラク国Karbala地区でのプロジェクトを想定した技術研修を第三国で実施した。

調査概要

能力開発プログラム(CDP)では、パイロットプロジェクトを開始に必要な灌漑・排水、営農、水管理分野の研修を実施するとともに、乾燥地における灌漑農業技術に関する指導・助言、パイロットプロジェクトのデータの収集・解析手法の指導・評価に加え、FS調査に必要な手法の習得など灌漑農業開発計画実施に必要な能力開発が実施され、またパイロットプロジェクト実施計画、アクションプランの最終案について検討・策定がなされた。

担当事項

- イラク水資源、灌漑農業等に関する情報収集
- 技術研修プログラム案の策定、灌漑農業技術分野の講義の実施及び討議
- ヨルダン国内、エジプト及びシリア等の技術研修プログラム作成のための現地視察・解析
- イラク水資源・灌漑農業及びPP地区の現状の把握、課題の解析
- PP実施に必要な現地データやイラク国内での事項等の検討及び情報収集指示
- 能力開発計画の改訂版となる次年度研修計画(案)及びPP実施計画(案)の策定に関する助言と提言

